

第50回 市民活動支援センター運営協議会

日時：令和5年7月27日（木）
午後2時～
場所：中会議室1・2

次 第

- 1 開 会
- 2 市民生活部長挨拶
- 3 議 題
 - (1) 議案
 - 1) 野田市市民活動団体支援補助金審査会委員の推薦について
 - (2) 報告事項
 - 1) 令和5年度市民活動支援センターの登録状況（令和5年7月1日現在）について
 - 2) 令和5年度市民活動支援センターの利用状況（令和5年4月～6月）について
 - 3) 学習会（助成金、パソコン）の開催結果について
 - 4) 令和4年度野田市市民活動団体支援補助金取組事例集について
 - 5) 「のだ市民活動ふれあいフェスティバル2023」
第6回市民活動元気アップふえすたの進捗状況について
 - 6) 野田市市民活動団体支援補助金交付規則の改正について
- 4 閉 会

(1) 議題

1) 野田市市民活動団体支援補助金審査会委員の推薦について

野田市市民活動団体支援補助金審査会会長から依頼がありましたので、野田市市民活動団体支援補助金の令和5年度交付団体の事業計画変更の審査及び令和6年度交付団体の選定のため、野田市市民活動団体支援補助金審査会設置要領第3条第1項第7号の規定により野田市市民活動支援センター運営協議会の会長及び副会長以外の委員から2人を推薦する。

野市生第192号
令和5年7月18日

野田市市民活動支援センター運営協議会 様

野田市市民活動団体支援補助金審査会
会長 今村 繁

野田市市民活動団体支援補助金審査会委員の推薦について（依頼）

盛夏の候、貴職におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。
日頃より市政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、野田市市民活動団体支援補助金の令和5年度交付団体の事業計画変更の審査及び令和6年度交付団体の選定にあたり、野田市市民活動団体支援補助金審査会設置要領第3条第1項第7号の規定により、貴運営協議会の委員より当補助金審査会の委員として協力いただける方をご推薦いただきたく、お願い申し上げます。

記

1. 推薦人数 2名以内

2. 審査会の開催時期
 - ・令和5年度交付団体 変更申請書が提出された場合
随時開催予定
 - ・令和6年度交付団体 令和6年2月

※開催日時は決まり次第、別途連絡いたします。

【参考】野田市市民活動団体支援補助金審査会設置要領

(設置)

第1条 野田市市民活動団体支援補助金の交付対象団体を公平かつ適正に選定するため、野田市市民活動団体支援補助金審査会(以下「審査会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 審査会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 野田市市民活動団体支援補助金交付申請書類の審査及び評価に関すること。
- (2) 補助金交付団体の候補者の選定に関すること。

(組織)

第3条 審査会は、次に掲げる職にある者をもって組織する。

- (1) 副市長 (2) 市民生活部長 (3) 市民生活課長 (4) 市民生活課長補佐
 - (5) 市民活動支援センター運営協議会の会長 (6) 市民活動支援センター運営協議会の副会長
 - (7) 市民活動支援センター運営協議会の委員(2名以内)**
- 2 前項第5号から第7号までに掲げる職にある者が、応募申請のあった団体の役員、若しくはこれに準じる者であるときは、その者が関係する応募申請の審査からその者は除外とする。
- 3 審査会に会長及び副会長1人を置き、会長には副市長を、副会長には市民生活部長をもって充てる。
- 4 会長は、会務を総理し、審査会を代表する。
- 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。
- 6 委員に事故があるときは、会長が指名する者に代理させることができる。

(会議)

第4条 審査会の会議は、会長が招集し、議長となる。

- 2 審査会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第5条 審査会は、その所掌事務を遂行するため必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第6条 審査会の庶務は、市民生活課において処理する。

(委任)

第7条 この要領の実施に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

この要領は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成30年10月1日から施行する。

(2) 報告事項

1) 令和5年度市民活動支援センターの登録状況(令和5年7月1日現在)について

(登録団体数)

(単位:団体)

年 度	市民活動団体内訳		合計	更新	新規
	N P O 法 人 一 般 社 団 法 人	ボ ラ ン テ ィ ア 団 体 等 市 民 団 体			
令和5年4月1日現在(1)	20	104	124	123	1
令和5年7月1日現在(2)	20	116	136	130	6
増減(2) - (1)	0	12	12	7	5

※令和5年4月1日以降に新規登録された団体の概要は次表のとおりです。

(新規登録団体の概要)

番号	団 体 名 (活動分類)	活 動 内 容
2	野田のまちのスケッチ原画展実行委員会 (まちづくり)	野田のまちの魅力を探し、描き、伝えるスケッチ原画展を開催することを通して、野田のまちの魅力を多くの方々に伝えるとともに、会員の交流を広げ、深める活動。
3	点訳絵本の会 千葉支部 (保健・医療・福祉)	視覚障がい者へ点訳された絵本を提供するため、絵本の文の内容やイラストを点字で表現。視覚障がい者にも文化・芸術を分け隔てなく伝える活動。
4	千葉県野田市・チキチキ情報局 (まちづくり)	SNSやYouTube等での地域情報の発信や、地域情報発信のための生放送番組の制作・配信を行う。メンバーとの交流や意見交換、地域のイベントへの参加など。
5	己書 光輝道場 (学術・文化・芸術・スポーツ)	筆ペンや水彩絵の具を使用し、書き方・書き順などの条件にとらわれることなく、文字や絵を描く「己書」を楽しむ活動。体験会や講座を開催。
6	ステップ会 (保健・医療・福祉)	ポールストレッチ、スクエアステップエクササイズといった健康活動、頭の体操、認知症予防などを行う。元気長寿をめざして仲間作りや、ふれあいが出来る通いの場。

<登録団体数の推移>

年 度	市民活動団体内訳		合 計	組 織 名
	N P O 法 人 一 般 社 団 法 人	ボ ラ ン テ ィ ア 団 体 等 市 民 団 体		
平成 2 4 年 度 末	1 3	5 7	7 0	N P O ・ ボ ラ ン テ ィ ア サ ポ ー ト セ ン タ ー
平 成 2 5 年 度 末	1 4	7 5	8 9	
平 成 2 6 年 度 末	2 5	8 5	1 1 0	
平 成 2 7 年 度 末	1 9	7 6	9 5	市 民 活 動 支 援 セ ン タ ー
平 成 2 8 年 度 末	2 2	8 7	1 0 9	
平 成 2 9 年 度 末	2 3	1 0 6	1 2 9	
平 成 3 0 年 度 末	2 4	1 0 8	1 3 2	
令 和 元 年 度 末	2 5	1 1 4	1 3 9	
令 和 2 年 度 末	2 4	1 1 4	1 3 8	
令 和 3 年 度 末	2 1	1 1 2	1 3 3	
令 和 4 年 度 末	2 2	1 1 7	1 3 9	
令 和 5 年 4 月 1 日	2 0	1 0 4	1 2 4	
令 和 5 年 7 月 1 日	2 0	1 1 6	1 3 6	

市民活動支援センター登録団体活動分類内訳

令和5年7月1日現在

「学術・文化・芸術・スポーツ」が42団体(30.9%)と一番多く、2番目が「保健・医療・福祉」35団体(25.7%)、3番目が「子どもの健全育成」で22団体(16.2%)です。

この3分野合計が99団体となっており登録団体の総数136団体の72.7%となっている。

NPO法人等が20団体、任意団体が116団体で、NPO法人等は14.7%となっている。

また、重複の活動分類では、「学術・文化・芸術・スポーツ」が61団体と最も多く、2番目が「保健・医療・福祉」58団体、3番目が「子どもの健全育成」51団体となっている。

活動分類				主活動の団体内訳						
				団体数 重複	団体数 主活動	割合	内訳1		内訳2	
							NPO法人等	任意団体	更新	新規
1	学術・文化・芸術・スポーツ	61	42	30.9%	4	38	40	2		
2	保健・医療・福祉	58	35	25.7%	6	29	33	2		
3	子どもの健全育成	51	22	16.2%	5	17	22	0		
4	まちづくり	50	15	11.0%	2	13	13	2		
5	人権の擁護・平和推進	19	7	5.1%	1	6	7	0		
6	環境の保全	17	8	5.9%	1	7	8	0		
7	社会教育	40	2	1.7%	0	2	2	0		
8	観光の振興	13	1	0.7%	0	1	1	0		
9	国際協力	5	1	0.7%	0	1	1	0		
10	男女共同参画	6	1	0.7%	0	1	1	0		
11	科学技術の振興	2	1	0.7%	1	0	1	0		
12	他団体との連携・助言・援助等	36	1	0.7%	0	1	1	0		
13	地域安全活動	9	0	0.0%	0	0	0	0		
14	職業能力の開発・雇用機会の拡充	5	0	0.0%	0	0	0	0		
15	災害救援	2	0	0.0%	0	0	0	0		
16	農山漁村・中間山間地域の振興	1	0	0.0%	0	0	0	0		
17	情報化社会の発展	2	0	0.0%	0	0	0	0		
18	経済活動の活性化	2	0	0.0%	0	0	0	0		
19	消費者の保護	1	0	0.0%	0	0	0	0		
合計		380	136	100.0%	20	116	130	6		

(2) 報告事項

2) 令和5年度市民活動支援センターの利用状況(令和5年4月~6月)について

①相談等業務

(相談等業務実績)

項目		令和4年4~6月(1)	令和5年4~6月(2)	比較(2) - (1)
相 談	件 数	51件	62件	11件
	団体数	35団体	40団体	5団体
	時 間	27時間15分	33時間10分	5時間55分
登録申請	件 数	37件	18件	△19件
その他	会議室申請	件 数	28件	△23件
	チラシ配架	件 数	6件	0件
	講座申込	件 数	11件	△7件
	ふえすた関連	件 数	48件	△34件
	挨拶	件 数	14件	△3件
	その他	件 数	47件	△5件
	小 計	件 数	177件	105件
合 計	件 数	265件	185件	△80件

(相談件数の内訳)

項目	令和4年4~6月(1)	令和5年4~6月(2)	比較(2) - (1)
1 団体立ち上げ	2件	1件	△1件
2 登録申請	8件	5件	△3件
3 広報関係	0件	0件	0件
4 市補助金	20件	14件	△6件
5 助成金関係	3件	8件	5件
6 パソコン	10件	10件	0件
7 会計書類	0件	6件	6件
8 協働のまちづくり	0件	1件	1件
9 銀行口座	0件	0件	0件
10 市民活動保険	0件	0件	0件
11 施設・会場	0件	2件	2件
12 法人化	1件	0件	△1件
13 市民活動参加希望	0件	0件	0件
14 その他	7件	15件	8件
合 計	51件	62件	11件

②フリースペース等の貸館業務の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の経過

(令和5年4月～6月)

決定日	対策本部会議	感染対策	
		期 間	内 容
3/10	第91回野田市新型コロナウイルス対策本部会議	3/13 ～5/7	市役所等の公共施設における利用者又は職員については、国が示すとおり、3月13日からマスク着用は個人の判断に委ねることを決定した。 ただし、職員が受付窓口や相談業務、屋内で市民と接する場面では、感染対策上の必要があることからマスクを着用し、その旨を施設入口等に掲示することを決定した。
4/28	第93回野田市新型コロナウイルス対策本部会議	5/8 ～5/31	5月8日から新型コロナウイルス感染症は5類感染症へ移行することから、今後は公共施設等において市が講ずる感染対策については、換気や手指消毒の推奨など一般的な感染症と同じ対応とすることを決定した。 (継続する取組) ・手洗い等の手指消毒（アルコール消毒液の設置）、換気の推奨 ・公共施設の受付窓口等へのパーティションの設置（日常的な清掃を実施）等 (終了する取組) ・窓口等市民と接する市職員のマスクの着用 ・貸館利用におけるチェックリストの提出等
6/17	第94回野田市新型コロナウイルス対策本部会議	6/1 ～6/30	5類移行前に、公共施設等において市が継続して講ずることを決定した感染症対策については6月末まで継続することを決定した。 <u>6月末まで継続する取組</u> ・手洗い等の手指消毒、換気の推奨 ・公共施設の受付窓口等へのパーティションの設置 等
6/23	第95回野田市新型コロナウイルス対策本部会議	7/1 ～7/31	6月末まで継続するとした感染対策については7月末まで継続することを決定した。 <u>7月末まで継続する取組</u> ・手洗い等の手指消毒、換気の推奨 ・公共施設の受付窓口等へのパーティションの設置 等

③ フリースペース等の利用状況

項目	令和4年4~6月(1)	令和5年4~6月(2)	比較(2) - (1)	
利用件数	19件	31件	12件	
利用団体数	12団体	20団体	8団体	
利用人数	36人	100人	64人	
利用時間	14時間10分	31時間54分	17時間44分	
利用内訳	フリースペース	5件	15件	10件
	上記のうち予約	4件	12件	8件
	団体向けパソコン	14件	16件	2件

④ イオンノア店内会議室の利用状況

項目	令和4年4~6月(1)	令和5年4~6月(2)	比較(2) - (1)
利用件数	30件	95件	65件
上記のうち予約	30件	95件	65件
利用団体数	9団体	9団体	0団体
利用人数	281人	1,458人	1,177人
利用時間	94時間29分	319時間14分	224時間45分

※ 8階旧レストラン会議室の利用状況(令和4年度末で貸出終了)

項目	令和4年4~6月(1)	令和5年4~6月(2)	比較(2) - (1)
利用件数	50件	—	皆減
上記のうち予約	50件	—	
利用団体数	15団体	—	
利用人数	670人	—	
利用時間	172時間21分	—	

(2) 報告事項

3) 学習会（助成金、パソコン）の開催結果について

①助成金学習会

市民活動団体の活動資金確保のための「助成金基礎講座（１）」を開催しました。開催結果は下表のとおりです。

【助成金基礎講座（１）】開催結果

☆日 程	6月21日（水） 午前10時～11時25分
☆場 所	総合福祉会館2階 第1会議室
☆対 象	登録団体
☆参加者	3団体 4名 上記以外の参加予定の2団体2名は体調不良等のため欠席
☆担当者	関口センター長、釜田主任CN、荒井・渡邊・CN
☆内 容	助成金基礎講座（１） （１）参加者の自己紹介 （２）令和5年度助成金の紹介と申請準備 （３）令和6年度野田市市民活動団体支援補助金について （４）その他個別相談等
※	参加3団体すべてが野田市市民活動団体支援補助金または民間助成金の採択実績があるため、申請手続きは少し慣れている団体であった。 ・各団体の希望に沿った野田市や民間助成団体を確認し、今後申請について個別に相談することになった。 ・欠席した2団体については、後日個別に相談を実施した。
	

今年度は助成金学習会を2回計画しており、今後の予定は次のとおりです。

◆助成金基礎講座（２） 令和5年10月24日（火）

＜令和 5 年度民間助成金の採択状況等＞

① 令和 5 年度民間助成金の採択結果

(単位：円・団体) 令和 5 年 7 月 1 日現在

番号	助成団体名	内 容	採択金額	採択 団体数
1	公益財団法人 日本生命財団	生き生きシニア活動顕彰	50,000	1
合計	1 団体	1 事業	50,000	1

② 令和 5 年度民間助成金の申請状況（審査中）(単位：円・団体) 令和 5 年 7 月 1 日現在

番号	助成団体名	内 容	申請金額	申請 団体数
1	独立行政法人青少年 教育機構 子どもゆめ基金 (第 2 次)	読書の普及活動	200,000	1
合計	1 団体	1 事業	200,000	1

② パソコン学習会

市民活動を実施するためのパソコン初心者を対象とした「パソコン初心者講座「Word 基礎」」を計画し、登録団体に参加を呼びかけましたが、参加希望者がなかったため中止しました。

これまではパソコンをほとんど使えない方にも団体の活動でパソコンを活用してもらえよう、初心者向けの Word 基礎講座を行ってきましたが、団体内でパソコンを使う方がだんだん初心者向けの内容では物足りなくなってきたということが、今回申し込みがなかった理由として考えられます。来年度は、レベルを少し上げた内容に変更していきたいと考えています。具体的には Word での三つ折りパンフレットの作り方や、無料のホームページ作成サービスなどを検討しています。

【パソコン初心者講座「Word 基礎」】開催計画（参加希望者がなく中止）

- | | |
|------|--|
| ☆日 程 | 6月29日(火) 午前10時～12時 |
| ☆場 所 | 市民活動支援センター室 フリースペース（総合福祉会館3階） |
| ☆対 象 | 登録団体の会員 |
| ☆定 員 | 6名（先着順） |
| ☆内 容 | Word を使ったの簡単なチラシ作り |
| ☆募 集 | 登録団体に開催案内チラシを送付するとともに、市ホームページ掲載、センター事務室や掲示板に掲示・配架した。 |

今年度はパソコン学習会を2回計画しており、今後の予定は次のとおりです。

- ◆初心者パソコン講座（2） 12月22日（金）

(2) 報告事項

4) 令和4年度野田市市民活動団体支援補助金取組事例集について

令和4年度野田市市民活動団体支援補助金を活用した取組や交付団体の活動を広く市民に発信するため、取組事例集を次のとおり発行します。

①令和4年度野田市市民活動団体支援補助金の交付実績概要

交付決定団体		取組内容	補助金額
継続 4年目	NPO法人 まめ塾 (令和元年度採択) ※	プログラミング教室開催のためのロボットアームのレンタル	100,000円
継続 3年目	千葉PECSサークル	PECSの研修会や講演会による啓発活動及び実践用のタブレットの購入	100,000円
	野田スクエアダンスクラブ	クラブ員を増やすためのスクエアダンス講習会の講師謝礼	100,000円
	あいねこ	動物愛護のための保護猫の捕獲機の購入等	100,000円
継続 2年目	マミック ウィンド	合奏曲のレパートリーを広げるための楽器(ドラムセット)の購入	100,000円
	ラムネのビー玉	不登校の子どもの居場所づくりのための食育・野外活動及び芸術体験に係る経費	100,000円
合 計			600,000円

■組織基盤強化支援(設立5年未満の団体が対象)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、野田市市民活動団体支援補助金交付規則第2項に基づき、補助期間の最終年度が令和3年度から令和4年度に変更となっています。

■事業発展支援(設立5年以上の団体が対象)

交付決定団体	取組内容	補助金額
天空 (よさこいソーラン)	練習やイベント参加のためのワイヤレスアンプ等の音響機器及び鳴子の購入	200,000円
和の響会	訪問演奏会用のアンプスピーカー等の音響機器の購入及び団体紹介パンフレットの作成	124,000円
公益社団法人コスモス成 年後見サポートセンター 千葉県支部 ※令和5年4月 一般⇒公益認定	エンディングノートセミナー(講演会、ワークショップ)開催のための会場使用料、チラシ及びエンディングノートの印刷代 ※関係機関との調整等で3回予定のセミナーが2回となり、また、会員が講師となったことにより清算で減額となりました。	32,192円
野田もの知り検定企画実 行委員会	大型プリンター購入による運営コスト低減化、GIGAスクールへの野田もの知りクイズサイトの制作及びちびっこ野田検定の実施 ※補助事業の一部縮小により清算で減額となりました。	71,840円
合 計		428,032円

②令和4年度野田市市民活動団体支援補助金取組事例集 別添報告4) - 2のとおり

(2) 報告事項

5) 「のだ市民活動ふれあいフェスティバル2023」

第6回市民活動元気アップふえすたの進捗状況について

昨年度と同様に市民ふれあいハートまつり及び福祉のまちづくりフェスティバルと同時開催となる第6回市民活動元気アップふえすたの参加団体を募集したところ、20団体

名称	健康スポーツ文化都市宣言記念 「のだ市民活動ふれあいフェスティバル2023」第6回市民活動元気アップふえすた
目的	① 市民活動団体の活動を多くの市民に知ってもらい市民活動への関心を広げる。 ② イベントを楽しみながら市民活動団体同士や市民との交流を図る。
目標成果	・参加団体は26団体を目標とする。3つのイベント合計で66団体。 ・参加者は3つのイベント合計で1,000人を目標とする。 ※成果→参加団体数は7月10日現在、20団体 3つのイベント合計で55団体 (内訳: 展示3団体、実演・体験等17団体) ※舞台発表のみの参加はなしとし、演奏や演舞等の模範演技を行った後に、体験会等を行い、市民との交流ができる内容に変更した結果、前回舞台発表の8団体が実演・体験等に内容を変更して参加
日時	令和5年11月19日(日) 10時~15時(18日は準備)
☆具体的な会場配置・内容については参加団体と協働で作成	
会場	中央公民館・総合福祉会館 野田ガスホール(文化会館)ロビー(スタンプラリー記念品交換場所)
内容	・各会場での市民活動団体等の展示や実演・体験等を通しての団体同士や市民との交流 ・交流のための交流広場やチーバくんなどのキャラクターとの写真撮影等 ・各会場への集客とイベントを楽しんでいただくためのスタンプラリーの開催
実施体制	・市民活動支援センターが主催し、参加団体と協働で企画・実施する。 ・他の2つのイベント事務局と連携して、会場配置等の調整や開会式、閉会式、スタンプラリー、新型コロナウイルス感染対策などを合同で実施する。
スケジュール	・5月15日~7月7日 参加団体を募集 ・4月6日~8月22日 代表者連絡会議・事務局打合せ会議開催(3イベント) ・8月4日~9月15日 参加団体との打合せ会議(2回) ・10月13日~ パンフレットの掲示・配布、市報、市ホームページ掲載等 ・11月18日(土) 会場準備(市民生活課・市民活動支援センター・参加団体等) ・11月19日(日) 第6回市民活動元気アップふえすた開催
市民への案内	・市報、市ホームページ、まめメール、市民活動つうしん ・パンフレット(登録団体、公民館等の公共施設、まめバス) (事前配布する3つのイベントの統一したパンフレットは、会場ごとの団体名や内容、タイムスケジュールを記載し、早くから市民に周知する。) ・ちいき新聞、すくすく通信 など

(うち新規参加3団体)の参加申込みがありました。開催概要は下表のとおりです。

6)野田市市民活動団体支援補助金交付規則の改正について

野田市市民活動団体支援補助金は、NPO法人及びボランティア団体等の市民活動団体の組織の運営や自立の強化を図る取組及び事業の発展や組織の体制の強化を図る取組に要する経費に対して補助金を平成 29 年度から交付しています。今年度で7年目になりますが、組織基盤強化支援と事業発展支援のうち、組織基盤強化支援の補助金については、令和 4 年度、5 年度の応募がありませんでした。また、本補助金の目的である、市民の積極的な参加によるまちづくりの進展や団体の課題となっている会員の確保につながっていないように見受けられます。

今後、補助金の目的を達成するために、これまでの交付実績を検証し、規則改正等の検討を進めていきたいと考えております。これまでの交付実績は以下のとおりです。

①交付実績

1)組織基盤強化支援

	団体名	主な活動内容	交付年度	補助金額(円)	取組内容	主な対象経費	会員数(人)	
							申請時	現在
1	野田もの知り検定企画実行委員会	野田市を知ること、好きになることが、地域を豊かにし賑わいのあるまちに盛り上げる力を創生するものと考え、市民の力の向上とまちづくりにつなげることを目的に「野田もの知り検定オンライン」を実施している。	29	100,000	クイズ集等の作成	印刷製本費	9	6
			30	100,000	クイズ集等の作成	印刷製本費		
			元	100,000	クイズ集等の作成	印刷製本費		
2	野田ガーデニングクラブ	会員相互の交流を通じてガーデンライフの向上と発展を図る。また、オープンガーデンを通じて地域の美観の向上と交流に貢献している。	29	100,000	研修会の実施、ガイドブック等の作成	研修費 印刷製本費	53	45
			30	100,000	研修会の実施、ガイドブック等の作成	研修費 印刷製本費		
			元	100,000	オープンガーデンのポスター等の作成、研修会の実施	研修費 印刷製本費		
3	学習支援ボランティア	学習環境に恵まれない子ども達の学習を支援する「ひまわり学習会」を運営するボランティア活動。	30	200,000	コピー機の購入等	備品購入費	7	5
4	野田よさこい躍り協議会	よさこいを通じて街づくりに参加する。市内外のイベントに参加して、野田市の新乱舞曲「願 GALA！」を披露し、野田市の良さをアピールする。	元	100,000	オリジナルCD・DVDの作成	委託料	7 団体	6 団体
			2	100,000	よさこい躍り普及のための蛙のお面の購入	備品購入費		
			3	100,000	新曲をオンライン動画配信により PRPV の制作	委託料		
5	NPO法人まめ塾	ロボットアームを用いたプログラミングワークショップを開催している。	元	100,000	プログラミング教室で使用する機材の賃借	賃借料	10	10
			3	70,785	プログラミング教室開催のためのロボットアームレンタル	賃借料		
			4	100,000	プログラミング教室開催のためのロボットアームレンタル	賃借料		
6	爆笑 星の座	おめでたい七福神踊りや笑いを誘うコミック踊り、獅子の舞いを中心に年間行事の季節感を取り入れながら手作りの面、衣装、小道具にて各施設、病院、町内イベントなどの依頼にて活動している。	元	100,000	音響機器の購入	備品購入費	8	10
			2	100,000	福祉施設訪問用の名入りTシャツ、新演目衣装の購入	備品購入費		
			3	95,971	新規団員募集のための宣伝やチラシ作成のためのパソコン・プリンターの購入	備品購入費		

7	あいねこ	<ul style="list-style-type: none"> ・保護猫のための譲渡会の開催 ・TNR 活動・地域猫活動のお手伝い、推進 ・猫の避妊去勢手術の推進 ・動物愛護・福祉についての啓発活動 	2	100,000	保護猫用の捕獲器、輸送用のキャリーケース等の購入及びホームページ作成	備品購入費	9	23
			3	100,000	動物愛護のための保護猫の捕獲器の購入等	備品購入費		
			4	100,000	動物愛護のための保護猫の捕獲器の購入等	備品購入費		
8	野田スクエアダンスクラブ	アメリカンスクエアダンスを通じて、健康維持、アンチエイジング、脳トレ、認知症対策、友人作り、楽しさの共有の取り組みにより、平和な社会調和に貢献する。	3	29,250	クラブ員を増やすためのスクエアダンス講習会の講師謝礼	報償費	6	6
			4	100,000	クラブ員を増やすためのスクエアダンス講習会の講師謝礼	報償費		
9	千葉 PECS サークル	PECS(Picture Exchange Communication System)を使った絵カード交換式コミュニケーションを学ぶため、勉強会や研修会を開催している。	2	62,000	ペクスカード普及研修会の開催のためのプロジェクター等の購入、講師謝礼	報償費 備品購入費	20	20
			3	100,000	研修会や講演会による啓発活動及びスクリーンの購入	報償費 備品購入費		
			4	100,000	PECS の研修会や講演会による啓発活動及び実践用のタブレットの購入	報償費 備品購入費		
10	マミック ウィンド	吹奏楽で地域イベントや自主企画を通し、団員、その子どもや地域の子ども達と交流を図り、音楽を楽しむ場を提供する。 子育て世代の母親の交流の場となるよう、子育て支援活動を図る。	3	100,000	合奏曲のレパートリーを増やすための楽器(シロフォン)の購入	備品購入費	16	18
			4	100,000	合奏曲のレパートリーを増やすための楽器(ドラムセット)の購入	備品購入費		
11	ラムネのビー玉	全ての子ども、また、その子どもに関わる大人たちが、居場所を通し、寄り添いあい、共感し合うことで、心身の負担を軽減できる安心して一息つける場を提供する。	3	100,000	居場所利用児童の昼食やミニおやつ子ども食堂開催のための備品・消耗品等購入	備品購入費 消耗品費	9	11
			4	100,000	不登校の子ども居場所づくりのための食育・野外活動及び芸術体験に係る経費	消耗品費		

2) 事業発展支援

	団体名	主な活動内容	交付年度	補助金額(円)	取組内容	主な対象経費	会員数	
							申請時	現在
1	むぎの会	歌、踊り、鳴り物、その他を通じ、野田市内及び近隣の福祉施設への慰問を主にボランティア活動として参加している。	29	300,000	音響機器の購入	備品購入費	36	24
2	野田市中途失聴者・難聴者の集い「みみづくの会」	中途失聴者・難聴者の自立と社会参加に必要なノートテイクや要約筆記による文字通訳の普及推進及び補聴器の聞こえを向上させるヒアリンググループ等の補聴援助システムの普及推進や社会環境の整備を促進するための啓発・普及「出前・聞こえのサポート」の実践活動をしている。	29	280,000	特別記念講演会「耳・聞こえの後援会」の実施	報償費 委託料	13	10
3	唄と踊りとお話と 直寿会	音楽を通して身体を動かしながら、仲間とのふれあいを通して生きがいを見つける。ボランティア訪問も目的の一つとしていく。	29	110,000	ミニバトン、花笠等の購入	備品購入費	30	19
4	野田のてんとう虫を守る会	有害な化学物質のない暮らしや緑と生態系を豊かにする活動をしている。街路樹を活かした景観の良いまちづくりに貢献する。	29	96,000	テーブル等の備品、消耗品の購入	備品購入費	6	解散 R5
5	尾崎・子供を守る会	尾崎小学校児童の登下校時の交通安全等の見守りや尾崎小・尾崎保育所の諸行事の支援及び尾崎小校庭の樹木剪定、その他の作業活動	29	142,000	雨具、帽子等の購入	備品購入費	15	12
6	NPO法人学区安全サポートクラブ	関宿地区の小中学校区の防犯パトロール等の実施。	30	300,000	パソコン等の購入、会報の作成	備品購入費	23	解散 R3
7	特定非営利活動法人野田子ども劇場	子どもの権利条約の精神に基づき、自主的・文化的・創造的な体験活動を行い、子どもと大人が共に育ち合う地域社会づくりを目的として活動している。子どもキャンプ・ソーラン野田組などを実施。	元	200,000	映画上映会の開催	備品購入費 使用料	62	38
8	特定非営利活動法人 野田総合型地域スポーツクラブ	・ジュニア育成地域推進事業・地域スポーツ普及・促進事業・地域ふれあい交流事業・障がい児・者 日中一時サポート事業を実施。	元	190,000	サッカーゴールの購入、指導者養成講習会への参加	備品購入費	56	市外移転 R5
9	おもちゃ病院 野田	市内の公共施設(総合福祉会館)で毎月 2 回開院し、年間約 150 個のおもちゃを修理している。	元	70,000	のぼり、横断幕、案内板の作成、修理用消耗品の購入	備品購入費	14	11
10	認定NPO法人東葛後見人の会 野田支部	成年後見制度の普及・啓発や市民後見人の養成活動 成年後見制度に係る業務(受任、財産管理・身上保護など)	2	140,000	市民後見人養成講座、老後の安心講座等の開催	報償費	50	50
11	園芸ファーム お〜い船形促進隊	障がい者自立支援を目的とした園芸福祉活動 高齢者の健康維持を目的とする仲間づくり生きがいづくり	2	200,000	園芸福祉のための農機具・農業資材購入、園芸福祉講座の開催	報償費 備品購入費	20	20
12	野田エコライフ推進の会	各種イベント、出前講座、学習会を通じて地球温暖化の現状とその見通しに理解を深め、省エネルギー、節エネルギー行動に向けた啓発活動。	2	100,000	温暖化防止のための啓発資料の作成	備品購入費	6	5
13	特定非営利活動法人 そいびーんず	野田市や東葛地域が育ててきた固有の食文化や特産品、さらには発酵・醸造の知見や技術を踏まえてのまちづくり。	2	90,000	NPO法人活性化のための入会案内パンフレット作成	印刷製本費	37	37
14	野田マジッククラブ	マジック技術の向上と研鑽をはかるための発表会や地域社会との交流、発展に貢献するためのボランティア活動。	3	184,400	演目幅の拡大と技術やスキル向上を図るための撮影・映写機器一式購入	備品購入費	14	13
15	介護・認知症の家族と歩む会・野田	認知症本人の苦しみや不安と介護家族の苦悩を軽減する情報の提供と相談会・交流会を定期的に行っている。	3	135,000	認知症講座、ワークショップ等の開催	印刷製本費	9	11
16	雲雀ハーモニカクラブ	ハーモニカの演奏の技量向上と会員相互の親睦を図ること。 ハーモニカ演奏を通じて地域社会に貢献するボランティア演奏会開催。	3	120,000	会員の増員を図るためのホームページの作成	委託料	15	16
17	大江戸相撲甚句会	野田市を中心として、各種イベントでの相撲甚句・しゃべる三味線等の公演を実施している。	3	200,000	相撲甚句公演用衣装の購入	備品購入費	22	17
18	天空(よきこいソーラン)	よきこいをとおして、野田市内でのイベントへの参加とボランティア活動を実施している。地域障がい者とその家族の健康維持と社会参加。	4	200,000	練習やイベント参加のためのワイヤレスアンプ等の音響機器及び鳴子購入	備品購入費	32	28
19	和の響会	市の行事に参加のほか、施設へのボランティア訪問演奏をしている。	4	124,000	訪問演奏会用アンプスピーカー等の音響機器の購入及び団体紹介パンフレット作成	備品購入費	6	10
20	野田もの知り検定企画実行委員会	和楽器、民族楽器の愛好者が集い、合奏を楽しみながら演奏技術の研鑽に努め、文化祭参加や施設へのボランティア演奏を実施している。	4	71,840	大型プリンター購入による運営コスト低減化、GIGAスクールへの野田もの知りクイズサイト制作及びちびっこ野田検定の実施	備品購入費	5	6
21	一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター 千葉県支部	・高齢者の権利擁護、財産管理等の支援に関する事業 ・後見人等の支援及び養成に関する事業 ・成年後見制度の広報及び調査、研究に関する事業	4	32,192	エンディングノートセミナー(講演会、ワークショップ)開催のための会場使用料、チラシ及びエンディングノート印刷代	印刷製本費	98	公益社団 R5

②補助金の主な対象経費について

組織基盤強化支援

年度	29	30	元	2	3	4	計
交付団体数	2	3	5	4	8	6	28
印刷製本費	2	2	2				6
研修費	1	1	1				3
備品購入費		1	1	4	5	3	14
委託料			1		1		2
報償費				1	2	2	5
賃借料					1	1	2
消耗品費					1	1	2
計	3	4	5	5	10	7	34

事業発展支援

年度	29	30	元	2	3	4	計
交付団体数	5	1	3	4	4	4	21
印刷製本費				1	1	1	3
備品購入費	4	1	3	2	2	3	15
委託料	1				1		2
報償費	1			2			3
使用料			1				1
計	6	1	4	5	4	4	24

③補助金交付後の団体会員数の増減について

組織基盤強化支援	交付団体	11 団体
	増	4 団体
	同	3 団体
	減	4 団体

事業発展支援	交付団体	21 団体
	増	4 団体
	同	3 団体
	減	10 団体
	解散等	4 団体

④補助金の対象となる経費

科 目	対 象 と な る 経 費	対 象 と な ら ない 経 費
報 償 費 (例)	・報償費、謝礼金など 講演会の講師謝礼、指導に対する謝礼、スタッフ謝礼、保育士謝礼など	・団体の構成員が講師を務める場合の講師謝礼 ・講師の宿泊費 ・講師手土産代
旅 費	・研修旅費 (例)人材育成等研修への電車代・費用弁償 (例)外部講師、指導者等の会場までの電車賃	・移動に係る燃料費(ガソリン等)
消 耗 品 費	・消耗品類 (例)各種事務用紙、封筒、ボールペン、鉛筆、消しゴムなどの文具類、プリンターインク、印刷用紙等 ・活動内容に関する書籍の購入費 ・講座、イベントにおける実習等で必要となる材料費等	
食 糧 費	・イベント、講座を実施するために必要と認められる食糧費 (例)講師の弁当代など	・団体の構成員が飲食するもの ・飲食を含む会合費 ・視察先等への手土産代
印 刷 製 本 費 (例)	・印刷製本代、コピー代等 文書、冊子・パンフレット類、ポスター・チラシ等のコピー代、外部業者への印刷代など ・活動に関係する写真のプリント代	
備 品 購 入 費	・備品購入代 (例)活動に必要な机、椅子、ロッカー、パソコン、エアコン、音響設備、プロジェクター、スクリーン等の購入費	
委 託 料	・講演等の講師派遣委託費 ・告知看板等の作成や専門的な知識や技術に対し、業務を外部に委託した費用など	・事業をそのまま外部に委託する場合は対象外
使 用 料 及 び 賃 借 料	・活動拠点となる事務所賃借料 ・会場使用料、機材賃借料など (例)音響機材のレンタル代、プロジェクター、スクリーン等機材のレンタル代など	
通 信 運 搬 費	・組織の運営に必要な通信費等 (例)切手代、はがき代、宅配便代	・団体構成員間の通信費 ※ただし、団体内で活動を広げるために発行する通信や会報などの通信費用は補助対象とします。
役 務 費	・イベント行事保険、検査費用など (例)行事保険料、検便費用など	
負 担 金	・研修参加費、受講料など	・個人の資格取得に係る費用
その他市長が必要と認めるもの	・市民生活課と協議の上、対象経費とするかどうか決定します	